



参加実績 **14,000人** 以上!



低学年～
高学年まで
楽しめる!



野菜、大好き!!

おいしい!

野菜チャレンジ

2025



見て、さわって、
味わって!
体感で学ぶ食育



クイズや
実験で
旬や栄養を
学ぶ!

訪問 または **オンライン** でお届け

プログラム参加団体 募集中!

第1次締切 **3月2日** 日
第2次締切 **5月25日** 日

ご応募はWEBから!



放課後NPO
アフタースクール



文部科学省



キッズデザイン協議会が表彰した子どもたちの創造性や学びを育むデザインです。

おいしい！野菜チャレンジとは？

子どもたちが主体的に学ぶ体験型授業をお届けします！

クイズや実験、ジュースづくりなどを通して、楽しみながら野菜と仲良くなれる食育プログラムです。

3つの特徴

1. 主体的に参加できる 体験型授業

野菜について謎解きを通して楽しく学んだり、オリジナルジュースのレシピを考えて発表したりするなど、主体的な学びの要素を取り入れたプログラムです。

2. 体感を通して 学ぶ食育

「さわる・見る・かぐ・知る」子どもたちの感覚をフル稼働し、体感を通じて野菜を立体的に捉え、学びます。

3. 食習慣を見直す きっかけに

野菜と親しむことで、「野菜を食べてみよう！」と意欲がわいたり、家庭でも食習慣を改めて考えたりするきっかけになります。

選べる3つのプログラム

実施の様子は
WEBサイトで
公開中！



多拠点 オンライン

日本全国 野菜すごろくの旅編

異なる地域の友だちとつながり、日本全国の野菜について学びながら野菜への好奇心を育むプログラムです。

● 放課後活動としてのみ実施可能



単独オンライン or 訪問



野菜のふしぎ 実験編

謎解きや実験のワクワクを通じて、野菜が苦手なお子様も自然に野菜と触れ・親しむことができるプログラムです。

● 小学校授業・放課後活動として
実施可能



訪問

最強のジュース レシピ編

オリジナルジュースをつくることを通じて「苦手な野菜も気がついたら飲めちゃった！」と野菜嫌い克服のきっかけをつかめるプログラムです。

● 小学校授業・放課後活動として
実施可能

楽しみながら野菜と接し、野菜への興味・関心を育む

子どもたちの野菜不足は、保護者・学校共通の「困りごと」。しかし、野菜に苦手意識を持つ子もいます。

そこで私たちは、子どもたちが楽しみながら、野菜について知ったり、接したりすることが

野菜への興味を育む第一歩になると考えました。

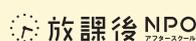
主体的に参加できる体験型授業を通して、子どもたちが野菜と仲良くなるきっかけをつくりま

「おいしい！野菜チャレンジ」は2社の協働プロジェクトです



カゴメ株式会社

カゴメは1964年以来さまざまな食育を積極的に行っています。カゴメの持つ野菜の知見や野菜の加工技術を活用した本プログラムの体験を通じ、子どもたちの野菜への興味を育てていきたいと考えています。



放課後
NPOアフタースクール

学校施設を活用した放課後の居場所「アフタースクール」の運営、企業や自治体と連携した放課後の居場所支援・子どもたちの体験機会創出に取り組んでいます。

応募から実施までの流れ

step 1

応募

WEBサイト応募フォームよりご応募ください。FAX、メールでのご応募も可能です。



step 2

当選のご連絡

締め切り日から約**2カ月以内**に当選団体のみご連絡いたします。

step 3

事前打ち合わせ

実施校・団体には、実施の**約1カ月前**に、お電話またはメールにて詳細のご連絡をいたします。

step 4

備品発送

実施日の**約2週間前**に、当日必要な備品をお送りします。中身の確認・保管をお願いします。

step 5

接続テスト (オンラインのみ)

実施日の**約1週間前**に、弊社スタッフとつなぎ、支障なく接続できるかの確認とサポートをいたします。

step 6

プログラム実施

当日の進行は弊社スタッフが行います。参加団体の皆様は子どもたちのサポートをお願いいたします。実施後の複数アンケートにご協力をお願いします。

2025年度 募集要項

応募締切

第1次締切

2025年3月2日 日 (実施 2025年7月～翌年3月)

第2次締切

2025年5月25日 日 (実施 2025年9月～翌年3月)

第1次締切までにご応募いただいた場合、第2次締切分にも自動エントリーされます

募集対象

小学校・放課後児童クラブ(学童保育)・放課後子ども教室・放課後活動団体など、小学生を対象とした活動をしている団体

実施対象

小学1～6年生

実施地域

全国

定員

40名/回

実施回数

年間80回

実施時間

● オンライン 多拠点すごろく編：75分/単独実験編：45～60分 ● 訪問 ジュース編：90分/実験編：45～60分

費用

プログラムはすべて無料でお届けいたしますが、実施校・団体様には準備や当日の子どもたちのサポート、アンケートの実施および収集のご協力をお願いいたします。 ※非営利目的のため、参加費は徴収せずに実施してください。

ご用意いただくもの

机、椅子、手を洗える水場(※使用食器の洗浄や子どもたちの手洗いで水場をお借りします)、1回の実施につき参加人数にかかわらず**野菜5個程度**(※詳細は当選後にご連絡いたします) ●できれば▶プロジェクト、スクリーン

応募方法

「おいしい!野菜チャレンジ」WEBサイト応募フォームからご入力ください。(FAX/メールでの応募をご希望の方は、WEBサイトより応募用紙をダウンロードしてご利用ください) **第1次の締め切りまでにご応募いただいた場合、第2次募集分に自動エントリーされます。**複数回ご応募いただく必要はございません。

ご応募はWEBから!

<https://npoafterschool.org/yasai-challenge/#contact>

FAX 03-6634-5596

メール yasai@npoafterschool.org



選定にあたっての留意事項

●実施校・団体は事務局で選出いたします。選定にあたり、確認書ならびに電話などで参加者や実施場所、準備物などについてヒアリングする場合があります。また、実施日時の調整をさせていただきます。●**実施決定後のキャンセル、日程・会場変更などはご遠慮くださいますようお願いいたします。やむを得ない場合はご相談ください。**●プログラム当日は、事前準備・後片付けのお時間も考慮して、会場の確保をお願いします。●1団体につき1回の応募をお願いします。

アレルギーについての留意事項

「おいしい!野菜チャレンジ」で使用するアレルギー表示対象原料 ●りんご ●オレンジ ●バナナ ●もも
上記以外にも野菜や果実(みかん、レモン、パイナップル、ぶどう、グレープフルーツ、マンゴー、パッションフルーツ、アセロラ、ブルーベリー、ラズベリー、クランベリー)を原料にしたジュースを使用します。参加いただくお子様の食物アレルギーの有無についてご確認いただき、応募時にご記入をお願いいたします。当選後に改めてアレルギーについては確認させていただきます。

結果通知

当選団体のみ各締め切り後、約2カ月以内にご連絡いたします。第1次に応募された方は、第2次にも自動エントリーとなります。

「よくあるご質問」もご覧ください。➤

● 選べる 3つのプログラム ●

プログラム選択でお迷いの際は応募フォームにて「いずれでもよい」をお選びください

∥ 野菜を通じて全国の友だちと仲良くなれる！ ∥



多拠点
オンライン

放課後活動としてのみ
実施可能

日本全国野菜すごろくの旅編

日本全国を舞台にした野菜すごろくの中で、野菜クイズや体験活動ができるオンラインプログラム。2つの団体をつないで行うので異なる地域の友だちと交流し、地域ならではの野菜や料理についても知ることができます。



● 2025年度の 募集日程はこちら！

時間は応募フォームをご確認ください。

7月4日	金	10月31日	金
7月16日	水	11月13日	木
7月24日	木	11月18日	火
8月1日	金	11月26日	水
8月6日	水	12月4日	木
8月26日	火	12月16日	火
9月4日	木		
9月10日	水	▼2026年	
9月26日	金	1月27日	火
10月7日	火	2月2日	月
10月22日	水	2月17日	火



単独
オンライン

or



訪問

小学校授業・放課後活動
として実施可能

∥ 野菜の「なぜ？」を実験で解明！ ∥

野菜のふしぎ実験編

野菜トレジャーハンターとなってクイズや実験に挑戦するプログラム。ナゾを解いて宝箱を開けるドキドキ感で夢中になり、自然に野菜と仲良くなります。本物の野菜を使った実験が人気です。



※ご希望の実施時期を応募フォームにてご回答ください。

野菜を知って、オリジナルジュースをつくろう！



訪問

小学校授業・放課後活動として実施可能

最強のジュースレシピ編

本物の野菜を使ったクイズやオリジナルジュースづくりを通して野菜と仲良くなるプログラムです。



※ご希望の実施時期を応募フォームにてご回答ください。

体験者の声をCHECK!

2023年度プログラム実施後アンケート結果より

調査期間：2023年7月～2024年3月 調査人数：95団体 子ども2759名 保護者1515名 団体担当者241名

子どもたちの声

プログラムは楽しかったですか？

楽しかった・まあまあ楽しかった

96%

今まで、こんな授業を受けたことがないくらい楽しかった。

(2年生)

野菜をもっと食べようと思いましたか？

そう思う

97%

毎日がんばって、少しずつ野菜を食べられるようになった。

(5年生)

保護者の声

おうちに帰ってプログラムの話をお子様としましたか？

話をした・少し話をした

93%

食事に並ぶ野菜を話題にしたり、野菜を使ったジュースの原料を気にしたりしていました。野菜に興味を持つい機会になったと思います。

(2年生保護者)

実施小学校教員・学童スタッフの声

今回のプログラムを他の学校や教育機関にすすめてほしいと思いますか？

すすめてほしい

78%

今までまったく野菜がダメだった生徒がジュースを口にしてくれました！プログラムを通じ、新しいことにチャレンジすることが楽しいと感じられる第一歩になったのではないかと思います。

(放課後児童クラブ ご担当者)

よくあるご質問

Q1

対象学年はありますか？

主に小学2～3年生のお子様を想定してプログラムを作成していますが、それ以外の学年のお子様もお楽しみいただけるよう、実施先様の状況に応じて一部内容や難易度を調整させていただいています。

Q2

最大の参加人数は何名ですか？

本プログラムは40名が最大参加人数です。基本的に1団体1回の実施ですので、40名を超える場合は、学年で区切ったり申込制にさせていただくなどのご対応をお願いしています。ただし、小学校授業の場合は、複数回実施などの例もございます。

Q3

日本全国野菜すごろくの旅編、
野菜のふしぎ実験編、
最強のジュースレシピ編のすべてに
応募することはできますか？

ご応募いただけます。希望プログラムを「E.いずれでもよい」にしてご応募いただくと、当選確率が上がりますので、ぜひご検討ください。（「日本全国野菜すごろくの旅編」は放課後活動限定となります）

Q4

当日のスタッフは必要ですか？

お子様対応で数名のスタッフの方にご協力いただければ助かります。進行は当法人スタッフがすべて行います。

Q5

用意する野菜は人数分必要ですか？

人数分のご用意は必要ありません。全体で数個（5個程度）ご用意をお願いいたします。（ご自宅にあるもの、畑でとれたものでも可）
野菜の準備に関する詳細は、当選後にご連絡いたします。

Q6

当選するにはどうすればよいですか？

長期休みの時期は、実施のご希望が集中します。幅広い日程をご提示いただけますとありがたいです。

Q7

事情があり、参加者全員からは
写真・映像等の使用可否の確認を
とれないのですが、
その場合応募できませんか？

ご応募いただけます。使用可否の確認がとれていない方、および、使用を許諾されない方は撮影しないなどの配慮をいたします。（事前の確認がとれていない方が当日参加される場合も配慮しますのでお知らせください）

オンライン

Q8

オンラインに使用する
機材がないのですが…

プログラム実施に必要な機材はすべて無料でお貸しします。（モバイルWi-Fi / パソコン / ケーブル等）機材の接続サポートもしますので、インターネット環境や通信機材のない団体様も安心してご応募ください。

お気軽にお問い合わせください！

おいしい!野菜チャレンジ事務局

お問い合わせ時は「おいしい!野菜チャレンジ」と一言いただければ幸いです。

詳細・
お問い合わせ・
ご応募は
WEBから！

おいしい!野菜チャレンジ



<https://npoafterschool.org/yasai-challenge/#contact>

☎ 050-1741-3912 ● 受付時間 平日 10時～17時

✉ yasai@npoafterschool.org



お子様の興味・関心に合わせ、野菜についてのさらなる学びにご活用ください

しょうく
植育から始まる食育

よろこびを、一から土から。

野菜の栽培や収穫体験、
野菜を加工する工場見学等、
野菜へのわくわくを
育てる体験がいっぱい！



カゴメオリジナルストーリー
不思議の畑のアリス

野菜を育む畑の世界を冒険
しながら、楽しく学べる
物語。ぜひご家族で
お楽しみください！



KAGOME
ののわくわく
プログラム

小学校・幼保園に無償で
トマト苗を提供し、栽培から
調理までの一連の過程を
サポートする取り組みです。

